

# よりよい情報社会へ

22j1-108

教科書 P24-P25

トピック集 P82 Society5.0

# よりよい情報社会へ

- よりよい情報社会へ
- S:これからの情報社会についてよく理解でき、自分なりに考えることができた
- A:これからの情報社会についてよく理解できた
- B:これからの情報社会について理解できた
- C:これからの情報社会について理解できなかった

よりよい情報社会へ

# 情報社会の影への対応

- サイバー犯罪
  - 便利な情報社会→犯罪者にとっても便利
  - 新たな脅威や危険
- 情報化の進展
  - 新たな問題が生じる可能性
  - 個人としても基礎的な知識や技術が必須
  - 問題解決の手法で適切な判断を

# 誰もが使える情報環境

# 誰もが使える情報環境

- デジタルデバイド
  - 活用できる人とできない人の差
  - 社会的・経済的な格差を広げる
- ユニバーサルデザインの推進
  - 自分が使えるだけでなく誰もが簡単に使えるを目指す

# 人口減少社会と自動運転車

- 自動運転車による社会の問題解決
- 過疎化・高齢化の解決策
  - 物資の輸送・日常生活の移動手段
- 労働者不足の解決策
  - 人口減少による運転手不足

# Society5.0と 自分の関わりを考える

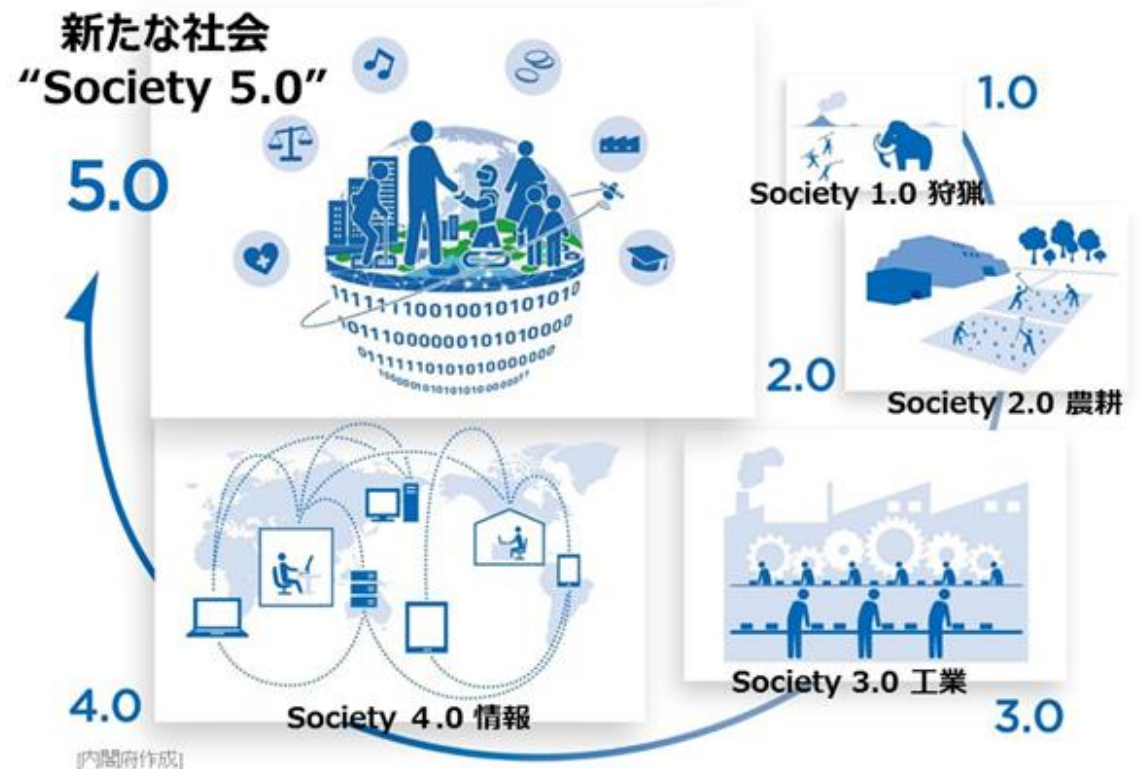


# Society5.0と自分の関わり

1. Society 5.0について理解する(5分)
  1. 情報 I のページ/Web参照
2. アイディア出し(5分)
  1. 問題点・解決策・疑問点/自分とのかかわり
  2. 1枚の付箋に1つ書く/最低でも10枚
3. グループでKJ法
4. 各自でまとめる
5. 印刷して提出(ファイルも提出)

# Society 5.0とは

- 狩猟社会→農耕社会→工業社会→情報社会に続く、新たな5つめの社会を指す
- 超スマート社会



# 1.Society 5.0について理解する(5分)

- 情報 I のページに資料
  - 内閣府Society 5.0
  - Society 5.0「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」説明資料
- トピック集82ページ[Society5.0]も参考に

## 2. アイディア出し(5分)

- Society 5.0の問題点・解決策・疑問点
- 自分との関わり・自分ができること
- 1枚の付箋に1つのアイディア/最低でも10枚
  
- メンバーのアイディアで自分の付箋を増やす
  - 乗っかる/広げる/反論
  - 自分の付箋を追加

## 2. アイディア出し(5分)

- Teamsのクラスのチーム
- 情報 I のチャンネル
- [ファイル]タブ
- [Society5.0]フォルダ
- グループ番号のファイルを開く

# 3.グループでKJ法

## 1. 付箋を整理

- 方法は教科書参照

## 2. スライド内に配置

- スライドからはみ出さないように

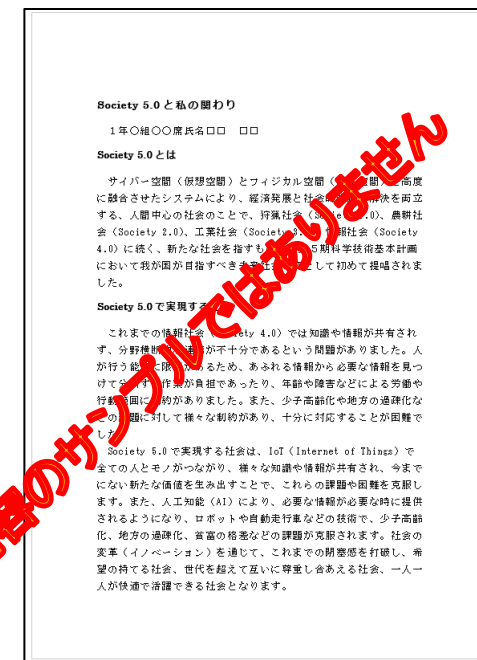
## 3. グループや関係性を分かりやすく

## 4. [挿入]→[図形]

- □○□ などにくくる
- Surfaceからペンで書き込む
- [塗りつぶし]は[なし]

# 4.各自でまとめる

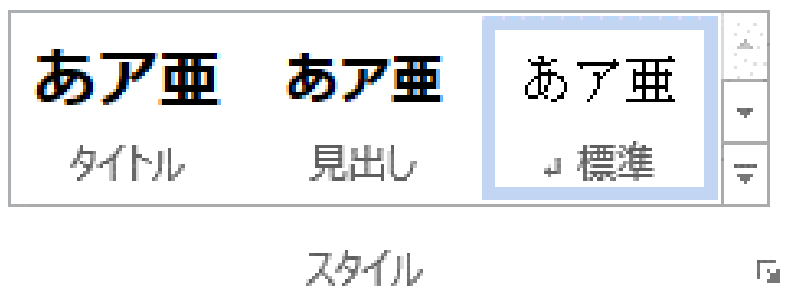
- [自分のドライブ]の 21j1-108ws.docx に入力
- 書式の変更はしない
  - レイアウト/文字サイズ/色などは変更不可
  - 無駄なスペースや改行を入れない
- すべて文章で表現する
  - 箇条書き不可/段落ごとに改行
- 半分ぐらいは埋めたい/1ページに収める
- タイトル「Society5.0と自分の関わり」



# Wordの使い方1

「Society5.0と自分の関わり」

- 左詰で文字を入力
- 段落を変えるときは[Enter]キー
- 書式の設定
  - タイトル行で[タイトル]をクリック
  - 見出し行で[見出し]をクリック
  - その他は標準



内容の訂正はいたしません

Society 5.0 と私の関わり

1年〇組〇〇席氏名□□ □□

Society 5.0 とは

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のことで、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、中期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会として初めて提唱されました。

Society 5.0 で実現する社会

これまでの情報社会（Society 4.0）では知識や情報が共有されず、分野横断的な連携が不十分であるという問題がありました。人が行う能力に限界があるため、あふれる情報から必要な情報を見つけ、分析する作業が負担であったり、年齢や障害などによる労働や行動範囲に制約がありました。また、少子高齢化や地方の過疎化などの課題に対して様々な制約があり、十分に対応することが困難でした。

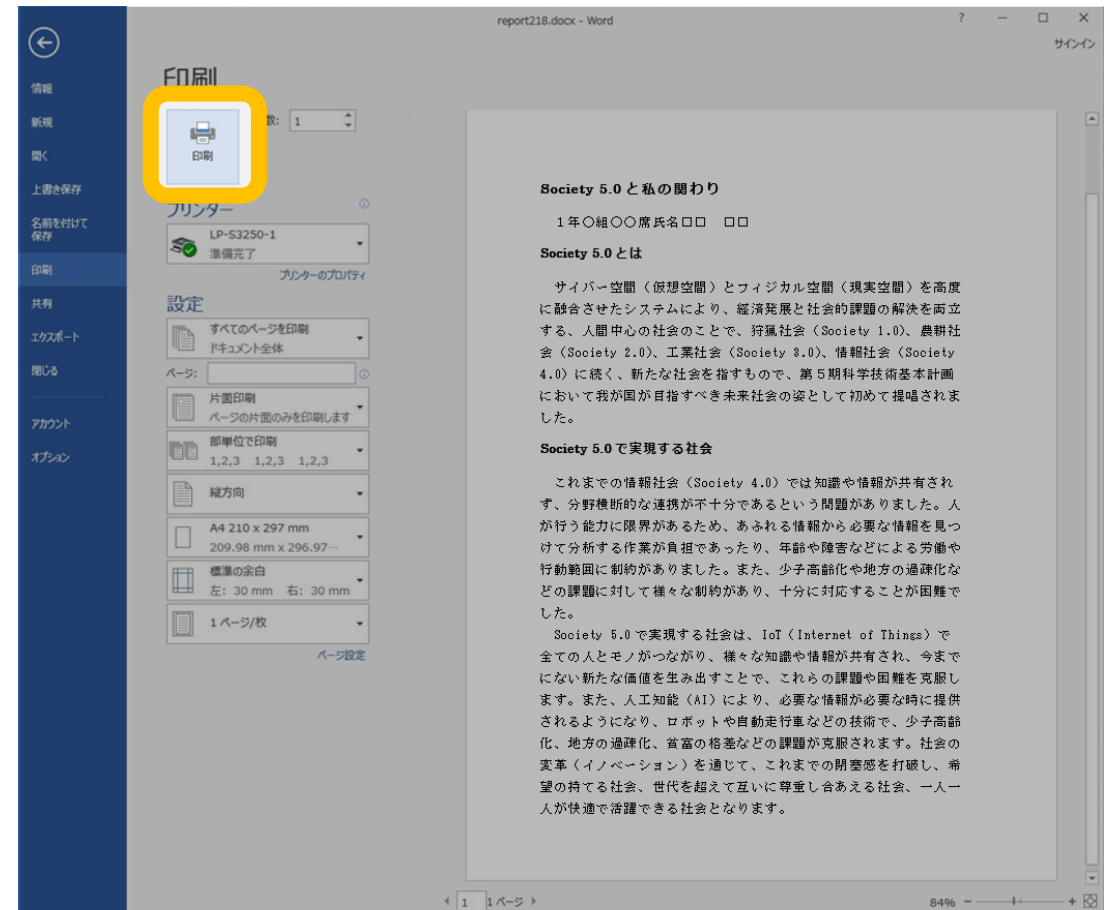
Society 5.0 で実現する社会は、IoT（Internet of Things）で全てのモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。また、人工知能（AI）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快進で活躍できる社会となります。



# Wordの使い方2-印刷

- [Ctrl]+[P]を押す
  - 印刷はPrint
- [印刷]ボタンをクリック
- フリンタへダッシュ！
  - 裏返して印刷される
- 確認して提出かごへ
  
- 本日中に提出

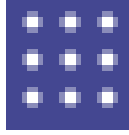
## 「Society5.0と自分の関わり」



# Wordの使い方3-保存

- [Ctrl]+[S]を押す
  - 保存はSave
- [×]ボタンをクリック
  
- 提出は紙だけじゃない
  - 完成した 21j1-108ws.docx を自分のドライブに保存

# 持ち帰って続きをやるには

- Teams左上  メニューをクリック
- [OneDrive]をクリック
- [自分のファイル]にファイルをドラッグ&ドロップ
- Surface、自宅PC、PC室で編集できる
  
- 完成したら自分のドライブに提出するのを忘れずに